

## 地産地消並びに学校給食に関する意見書

本市の学校給食の地産地消を推進するため、平成23年度から地場産農産物供給事業がスタートし、現在13品目にまで広がったことは、学校給食における安全安心の確保だけでなく、消費拡大や農業振興にも繋がるものと考えております。

しかしながら、学校給食における地場産農産物（置賜産）の使用率は野菜が35.1%、果物が22.2%となっており、まだまだ十分とはいえない状況であります。

本市の子供たちが、学校給食を通して、食に対する関心や意識を高めるとともに、地場産農産物を使用することにより地域の自然や文化、農業等について理解を深めることができるよう、下記のとおり意見を提出します。

### 記

1. 地場産農産物供給事業について、さらなる充実を図ること。
2. 米飯給食における「つや姫」の使用回数を増やすこと。
3. 米沢産の果物の使用を増やすこと。

平成28年11月11日

米沢市教育委員会教育長 大河原 真樹 様

米沢市農業委員会会長 伊藤 精 司